



愛知県教育委員会 長谷川洋教育長 様

3

2021年12月4日

請願人 行政を考える住民の会
事務局 宮崎邦彦

こどもの権利条約および、精神等を、こどもに認識してもらい、教職員等には、条約、およびその精神等の全面的な保障のための取り組みを求める請願

請願人 行政を考える住民の会
事務局 宮崎邦彦住所
住所 [REDACTED]

1 請願の経過、趣旨、理由

- 1 生徒指導提要に意見書 報道(2021年9月4日中日新聞 資料1)
市子ども権利擁護委員は、文部科学省に意見書(資料2)を提出
報道内容は、(なごもっか2020年1月開設) 教員による生徒への
暴言や体罰などの情報が寄せられており、・・・子どもの尊厳を傷つ
けるような指導が行われている実態を把握。とある。

子どもの権利に関する規定が欠けていることに問題があるとして、意見書で、子どもの意見が尊重されることを明記することを求めた、とある。

子どもが尊重されていないという実態があるということである
学校において、子どもの権利についての認識、理解が、かけている
ということである。

- 2 生徒指導提要の改定に関する意見書(資料2)を 請願人は2021年
9月6日に情報提供で受け取る。

この意見書の最後に、「・・・子どもの意見が尊重され、その最善の
利益が優先して考慮されなければならないことを明記し、この原理を
常に尊重する内容とすることを求めます。」 とある。

子どもの意見が、聞かれていないということでもある。

- 3 「性別関係なく制服選べるように」卒業生、都教委に署名と要望
(YAHOO! ニュース 2021/11/10 資料3)

記者会見で、「すべての生徒が安心して学校生活を送れるよう、東京

都全域で制服選択制を導入、推進してほしい」とある。

「決してトランスジェンダーだけの問題での話ではありません。性別で制服が決まるのは不合理ですし、(体質など)さまざまな理由で制服を苦しいとおもっているひとたちがたくさんいます。制服を選べないために学校に通えず、教育を受けられなくなってしまうのはおかし」と訴えた。とある。

学校は今、少数者についての配慮がなされなければならないということである。

- 4 春日井市立^中新制服採用へ 市教委 23年度 多様な性などに配慮 (2021年12月1日朝日新聞 資料4) には、「多様な性に配慮した・・・生徒が選べるようにする。」「アンケートをとったうえで決める。」等ある。「県立高校でも性別に関係なくはきやすいスラックスの採用が進んでいる。」とある。

- 5 県、人権条例の制定へ 「あらゆる差別解除^消」を目指す (2021年12月1日朝日新聞 資料5)

あらゆる差別の解除ということは、言い換えると、あらゆる権利の保障ということであると解される。記者会見・・・呼びかけ人・・・「差別の放置は、マイノリティーの暴力を誘発する・・・」と話している。まさに学校における、子どもの権利条約に反する事例は、差別の放置であり、マイノリティーへの暴力を誘発するという事である。

2 請願事項 (学校において)

- 1 子どもに対して、子どもの権利条約、憲法についての理解をさらに深め、進め、実現、行使(意見表明等)ができるようにすること。
- 2 教職員に対して、子どもの権利条約や、憲法において保障されている、子どもの権利を、さらに深く認識、理解させること。
- 3 教職員は、子どもが、子どもの権利条約、憲法において保障されている、権利についての、実現、行使(自己決定権等)に対して、全面的に保障すること。
- 4 教職員は、子どもの、権利について阻害していることについて、点検、見直し、を行うこと。
- 5 子どもの権利を阻害している事項(制服規定等含む)については、速やかに改善(少数者に配慮した、自由選択制等)をすること。

添付資料 資料1 中日新聞 2021年9月4日

資料2 名古屋市子どもの権利擁護委員

2021年 9月3日

資料3 YAHOO!ニュース 2021/11/10

資料4 朝日新聞 2021年12月1日

資料5 朝日新聞 2021年12月1日